

第166回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成29年6月23日（金）13:31～15:46

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 教職大学院認証評価に係る自己評価書（案）について

藤木教育学部長及び松元浩一教授から、資料1に基づき、自己評価書（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 部局長の運営方針表明について

武藤水産・環境科学総合研究科長から、資料2-2に基づき、水産・環境科学総合研究科の運営方針について、宮崎原爆後障害医療研究所長から、資料2-3に基づき、原爆後障害医療研究所の運営方針について、それぞれ表明があった。

なお、医歯薬学総合研究科・生命医科学域については、次回以降の本会又は連絡調整会議において表明していただくこととなった。

(3) 「長崎大学におけるダイバーシティ推進の基本方針（案）」について

学長から、資料3に基づき、4月28日開催の第164回教育研究評議会において検討を依頼していた「長崎大学におけるダイバーシティ推進宣言（案）」について、各部局からの意見を踏まえ、「長崎大学におけるダイバーシティ推進の基本方針（案）」としたこと、全学及び部局における行動計画並びに数値目標達成のシミュレーションについて説明があり、審議の結果、基本方針について了承され、部局における行動計画や具体的な数値目標については、今後、学長・副学長会議において検討のうえ、その結果を部局運営会議において担当の各理事及び副学長から報告することとなった。

(4) 医学部保健学科の編入学定員の見直しについて

田中医学部保健学科長から、資料4-1から資料4-4に基づき、医学部保健学科の編入学定員について、平成22年以降の充足状況等に鑑みて理学療法学専攻及び作業療法学専攻の各2名の定員を平成30年度入学より「若干名」として募集することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(5) 多文化社会学研究科の設置構想について

中村多文化社会学部長から、資料5-1から資料5-3に基づき、提出した設置計画書に対して、大学設置分科会から15件の審査意見があったこと及び意見への対応として、修士論文作成について5か国語から3か国語（日本語・英語・中国語）での執筆に絞ること等について説明があり、審議の結果、了承された。

(6) 熱帯医学・グローバルヘルス研究科博士後期課程の設置構想について

門司熱帯医学・グローバルヘルス研究科副研究科長から、資料6-1から資料6-3に基づき、

提出した設置計画書に対して、大学設置分科会から10件の意見があったこと及び意見の対応として、AC学務委員会の役割を整理することについて説明があり、審議の結果、了承された。

なお、同時に申請したロンドン大学衛生・熱帯医学大学院との国際連携専攻については意見が付されなかったことの補足説明があった。

(7) 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

理事(総務担当)から、資料7に基づき、平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について説明があり、審議の結果、総括に関する記載内容については、学長に一任いただくことで了承された。

(8) 長崎大学研究生規則の一部改正について

理事(教学担当)から、資料8に基づき、研究生の入学資格をより明確に規定するため、所要の改正を行う旨説明があり、審議の結果、了承された。

(9) 学生への修学支援について

理事(教学担当)から、資料9に基づき、本学における学生への修学支援(経済支援)について、「平成30年度からの授業料免除フローチャート」及び「新しい戦略的修学支援の枠組みに関する骨子案」をもとに、対象者や免除額についての説明があり、審議の結果、了承された。

(10) 平成30年度長崎大学入学者選抜の主な変更点について

副学長(入試担当)から、資料10に基づき、平成30年度よりインターネット出願を導入すること及び各学部における選抜方法及び実施教科・科目等の変更点について説明があり、審議の結果、了承された。

4 報告事項

(1) 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

理事(総務担当)から、資料11-1から資料11-3に基づき、国立大学法人評価委員会から通知のあった「第2期中期期間に係る業務の実績に関する評価結果」について報告があった。

以上